

蓮沼中学校・松尾中学校統合準備委員会 第1回 PTA・通学部会要点記録

1. 日 時	令和2年9月8日（火）17時30分から 19時08分
2. 場 所	蓮沼交流センター
3. 出席部会員	20名（欠席1名）
4. 次 第	1 開 会 2 あいさつ 3 議題 （1）通学路・通学方法について （2）PTA 組織について （3）その他 ・次回開催日時について 4 閉 会
5. 事務局	学校再編推進室

議題についての概要は次のとおり。

①通学路・通学方法について

【事務局の説明】

- 学校統合の基本的な事項について確認
- PTA・通学部会の主な検討項目について説明
- 通学距離の考え方について説明
- 山武市の適正配置の基本方針について説明
- 現在の生徒の通学距離について説明
- 通学路交通安全プログラムについて説明

【発言の概要】

- ・分布図を見ると蓮沼は横に広がっている。子供たちの体力は学年によって違うので、おおよそ通学に40分ほどかかるようだが、体力的に厳しいかもしれない。居住地も固まっているので、バスを出していただけないか。または山武市の基幹バスが走っているの、それを使ったりはできないか。
 - （事務局）公共交通機関の利用も検討に値するものだと思う。それ以外にも空港道路を走っているバスもある。だがバスの大きさや使用する生徒の関係もあるので、そのバランスをどうするのか。送りが中心になってしまうのか、自転車で行くのか、それらの懸念も挙げていきながら進めていってほしい。
- ・自力通学が難しい距離だと思う。送迎が出来ない方もいるので、生徒が自力で通学できるようにバスを検討していただきたい。
- ・（事務局）朝の部活動の場合、松尾中学校ではどのように生徒を迎えているのか聞きたい。
 - 部活動は7時からが一番早い開始時間である。冬場は6時45分以降の登校としている。40分登校にかかる生徒もいるので、6時過ぎくらいに家を出る生徒もいる。学校でもスタンバイはしているが、5時台は早いということで、各部活動で折り合いをつけながらやっている。
- ・（事務局）車と自転車の割合はどれくらいか。
 - 天候による。学校でも風が強い日などは部活動を停止したりしているが、多いときで7割送りになる日もあるイメージである。
- ・（事務局）蓮沼地区の中学校の保護者の方に聞きたいが、何時くらいに学校に登校しているのか。

- 現在、蓮沼中学校は朝練がない。帰りが 17 時 40 分くらいで家につくのが 18 時になる。統合して 18 時に下校となると家に帰ってくるのが 19 時になってしまい、安全性に懸念がある。実際自転車に登校して安全なのか、教育委員会で全て確認しているのか、危険箇所を補修するのに短い期間で終わるのか、そのあたりをはっきりさせていただかないと、自転車での通学は難しい。生徒の居住地が離れている地域では、通学路を示すにしてもそこが安全なのか確認するのも大変である。草刈りが満足にできていない状況で通わせるのはどうなのか。蓮沼中学校の保護者からすると心配の種である。
- ・(事務局) 防犯面についても意見をいただきたい。特に保護者の方から願う。
- ・台風も危険だが熱中症なども心配である。体調にもよるが、体力的に 1 時間の登校は厳しいと考える。親が途中で自転車を積んで迎えに行くことが出来れば良いが、通学中に問題が起きる可能性もある。昔は遠距離の自転車通学でも根性で乗り切れるといった風潮があった。しかし現在は快適に通学できるというのが重要である。時間が遅くなってしまうのは部活動の関係で仕方ない。
- ・中学 1 年生の体の未熟な生徒が、この距離を通学するのは心配である。安全に通えるようにしていただきたい。
- ・空港道路沿いの歩道の安全を確認したのだが、歩道から草が出ていたり、枝が下がっていたり、段差があったりしている。またポールを潜り抜けるのに危険を伴う。歩道は整備されているが、それを生かしきれていない。また大平小学校の登校と重なって、自転車と歩行者が同じ道を使わなければならない箇所もある。
- ・夕方の時間はスーパーとかに行く人で往来が激しく、暗くなると自転車通学は危険である。歩道が狭いし、交差点で見えにくいところもある。また部活動で疲れた時によろめいて危険なこともあるので心配である。
- ・自転車での時間が長いので、その間に何か危険があるかもしれない。送迎してもらうことについては松尾中学校ではなにか問題はあるか。
 - 松尾中学校の坂の下で交差点で渋滞してしまうことはある。雨の日は特にその傾向がある。
- ・車はどこまで入れるか。
 - 正門から入って一方通行なのだが、昇降口の前で降ろして、学校を一周回って帰っていく。
- ・その間、学校の中に入れない人は正門の外で渋滞するのか。
 - そうはならない。迎えに行く時は昇降口の前で待つ等している。
- ・松尾中学校は、現在の家庭数からすると広さに余裕があるので待機による混雑はないが、帰るとき大通りに入るまでに混雑してしまう。
- ・通学バスの場合は校内まで入れるのか。
 - 入れる。
- ・大型でも可能か。
 - 限定されるが入れる。
- ・次回の会議では、松尾中学校の様子を写真で見たほうが議論を進めるうえでわかりやすいと思うので、資料に画像等を載せていただくと助かる。
- ・(事務局) 次回用意したいと思う。道路が混雑するとのことであった。基本的に教習所などがある道の 1 本しかないということによろしいか。
 - そうである。
- ・資料では 5 年前に文部科学省から発表されたものが抜粋されているが、これ以降は更新されていないのか。
 - (事務局) 5 年前の資料が約 50 年ぶりに改定されたもので、最新のものとなる。6 k m の記載については昭和 30 年代からあった。そこに 1 時間という要件が加わった形である。

- ・資料のアンケートについてだが、25年度にとったものであるということだが。
 - （事務局）27年に基本方針を作るにあたって、学校のあり方検討委員会から答申をいただいている。その中で市民ニーズを聞きたいので、アンケートをしたという経緯があり、25年度にそれを補足するために実施した。
 - アンケートをとったのは10年前で、新しいデータが欲しいとは思う。
- ・自転車は歩道を通して良いのか。
 - 基本的には車道を通らないといけない。
 - 空港道路は自転車が通れる歩道になっている。
 - 標識で指定されていれば自転車も走行可能である。標識がないと本来は車道に出なければならぬ。
- ・（事務局）歩道が使えたとしても、草などが生えていて、危険とのことであった。空港道路の印象を聞いてみたい。
 - 空港道路の歩道は年に一度草刈りをしているが、それでは足りず、砂や草がある。徒歩ならそれらをよけられるが、自転車では危険である。統合したら小学生と中学生が反対方向を向くと思うが、そうすると歩道の整備をしないと衝突が起きるのは目に見えている。
- ・（事務局）これまでになかった動線が生まれるということか。
 - 小学校に行くのに歩道が両脇にあり、今は混雑していない。しかし統合したら中学生もそこを通るので、歩道を整備しないと混雑して危険である。
- ・空港道路は歩道があるから良いが、歩道がないところもある。蓮沼だけでなく、通学路交通安全プログラムで路面標示などに対応もされているが、それを見るかというところもあるので、歩道があったほうが安心である。街灯が無く、18時以降に帰って1時間下校するとなると心配である。松尾と大平もそうだが、もう少し道路整備をしないと自転車で行くメリットがなくて、自転車にするとしたらメリットを市に提示していただきたい。
- ・付け足したが、路肩を出て車道を走っているところがある。空港道路は歩道があるが、そこを蓮沼の人が走るには危険が伴う。街灯もない。そこを通学路として使うのであれば、整備しないと蓮沼からの通学は難しい。
- ・安全性の確保は大事だが、通学時間が重要である。
- ・時間も重要な要素である。部活動が終わってからだと帰りがかなり遅くなる。朝練に行くにしても、準備のために時間がかかる。
- ・バスが出たとしても松尾学区の生徒は危険箇所を通らないといけないので、そのあたりの対応はできる限りしていただきたい。
- ・（事務局）今回はバスと通学路についての議論があり、合わせて危険箇所を教えていただいて、通学方法も含めて多くの意見をいただいた。時間がネックになるという話もあった。防犯面についての話もあると思うが、そのあたりについても意見をいただきたい。
- ・中学校は通学路の指定はないはずである。そうすると危険なところが多く、それら全てに対応するのは難しいと考える。
- ・通ってはダメというのはあるのだが、ここを通らないといけないというのはない。
- ・（事務局）全てに対応することはできないが、大体のメインのところを対応していくことになるかと思う。
- ・長い間改善されない場所については、統合することによって改善してもらいたいという気持ちはあるが、すぐには対応するのが難しいからではないか。
- ・（事務局）蓮沼中学校は朝練が無いということだったが。

- 今年度はコロナウイルスの影響で今のところはない。通常はある。
- ・松尾中学校は朝の部活動をやっているのか。
 - やっている。
- ・現在、松尾中学校は何人が部活動に参加しているのか。
 - （事務局）9割ほどである。
- ・（事務局）統合して活動の幅を広げるというのも教育委員会からの提案なので、部活動については幅広く展開したい。
- ・部活動は強制ではないということによろしいか。
 - （事務局）そうである。
- ・（事務局）今回、蓮沼地域の方が通学距離が長くなるということで、文部科学省の基準や他の中学校の様子を鑑みた中での議論であった。通学路の整備が完全にはできておらず、通学環境の変化と時間的な問題から、バスの運行を可能性として残していただきたいとのことであった。

今日の意見をまとめてバスの運行を含めた話が次回できれば良いと思う。学校の駐車場や道路の状況等を確認したいということで、それらを含めて再度議論を深めていただきたい。公共交通機関の利用について話があったが、これは企画政策課の担当なので、どこまで柔軟なダイヤが組めるか検討する必要がある。バスは乗車定員が限られるので、1回では全ての生徒を乗せられない。相対的な意見をいただきたいので通学路と安全対策について継続審議としたい。
- ・追加の資料はいただけるのか。例えば、危険箇所であるとか。
 - （事務局）こちらで補足したいと思うので、その他にもご要望があれば用意したい。
- ・バスについての予算はどれくらいの規模が予想されるのか。
 - （事務局）蓮沼中学校の生徒が90人ほどなので、大きなバスが必要になると思う。現在循環バスが通っているが、あれらと同じ規模の物が必要になるのではないかな。どのあたりまでバスが入れるルートなのかというのもある。運動不足の面もあるので全員を家の前で拾うのは難しい。
- ・蓮沼交流センターに集まってバスで行くのはどうか。
 - （事務局）そのあたりが現実的だと考える。
- ・2台運用するなら東西に分かれて子供を乗せてはどうか。どうせ1台では乗り切らない。
 - （事務局）おそらく1台では難しい。
 - そうであれば拠点を2か所に分けて、運行するのが良いのではないかな。
 - （事務局）その拠点をどこに置くのか、そこまで歩いて行くのか自転車なのかも考えないといけない。
- ・もしバスが出る場合、朝練用のバスしか出ないのであれば、部活動のない生徒はどうなるのかという問題が出てくる。
- ・郡内でスクールバスを使っている中学校があるかと思うので、それらをまとめた資料を提示していただき、メリット、デメリットについて協議したい。
- ・ある学校では4台で回している。朝と夕で1便ずつである。これは部活動を朝7時から始める場合、通学に1時間かかる生徒は6時にバスに乗らないといけいないので、その生徒は朝5時に起きないと準備が間に合わないからである。加えて部活動は各家庭で送っていただいている。

また小学生が50分バスに乗るとへとへとである。
- ・（事務局）山武市では小学校なのだが、バスを運行している学校がある。それらのルートの基本設計は部活動も補足して、朝2週するルートである。中学校はどうルートを回すかがカギである。中央に集めて乗せるのか、2ルート回すのか。なるべくなら2ルートあったほうが良いと考

える。帰りも同じである。

- ・教育委員会側の青写真はできているのか。そのあたりを明確にしていきたい。
 - （事務局）青写真があるのかということだが、前々から考えていることなので、教育委員会としては、これくらいの生徒がいるので、これくらいのバスが必要だということを想定はしている。今回はメリット、デメリットを積み上げて、出すか出さないかという議論を優先して、舵がどちらにふれても対応できる形にしたいと思う。しかし道路については全ての要望が通るとは限らないということをご了承願う。
- ・この場で話した内容を教育委員会が汲むのかを知りたい。
 - （事務局）安全面についても意見をいただいて、出すのであれば続くような形で議論していただき、2回の会議にお付き合いいただきたいと思う。
- ・継続審議ということで良いか。
 - （事務局）時間や安全への配慮、また資料を補足した中で次回10月に会議を予定しているので、再度審議していただきたい。
- ・令和4年度に開校するための会議だと思うが、話し合いがうやむやにならないようにしたい。また、もっと議論しないといけないのであれば、1年先送りにしていただくことも検討していただきたい。
 - （事務局）煮詰まるまで時間が必要だと考える。当面は過密だが、当初のスケジュールの通りとしたい。
- ・（事務局）通学路交通安全プログラムについて付け足したが、資料に令和元年度の対応結果を掲載している。先ほど通学路のポールのところ危険と仰っていたが、最近までそこにはポールが無く、危険な箇所であった。このプログラムには資料のもの以外にも学校からの多くの要望を含んでいる。しかし全ての要望に応えられないのが現状である。信号の設置の要望もあるが、警察も立ち会っているが、大きな変化がない限り、信号を設置できないと言われたり、資料のように改善されたところでも、現在はまた草が生えたり泥がたまったりしているところもある。しかし、少しずつ改善できるように学校経由で問題を挙げていただきたい。県道であれば県の土木事務所、市道であれば市の土木課等と住み分けがされているので、全部の要望を通すのが難しい状況である。今後も皆さんの意見を聞いて、通学路は整備していかなければならないと考える。
- ・（部会長）通学方法については次回も継続審議とする。

② P T A 組織について

【事務局の説明】

○両校に P T A 規約について説明

【発言の概要】

- ・（部会長）今後、P T A 組織等についても検討をしていかなければならない。どのように進めていくのか、委員の皆さんには、それぞれお考えをお持ちになるようお願い申し上げる。

③ その他

【事務局の説明】

○次回以降の検討項目について説明

【発言の概要】

- ・会議の開催時間についてお聞きしたい。

- （事務局）この会を開くにあたって、学校と相談している。学校の勤務時間等を考慮して、17時半というところに落ち着いた。ご不便おかけするがよろしくお願いします。
- ・30分遅らせることはできないのか。遅く始まると終わりも遅くなるのはわかるのだが、皆さんお仕事の都合もあるので、できれば少し配慮していただきたい。
- ・（事務局）各校との調整の余地があれば、学校と調整させていただきたい。当初では学校に合わせた開始時間にしたかったが、それだと保護者が参加できないということで、この開始時間にした。預からせていただいても良いか。
- ・バスについては早急に決めていただきたい。
 - （事務局）バスについては第一の議題だと考えている。スピード感をもって進めて行きたい。
- ・総務部会の委員には保護者が3人しかおらず、校名についての議論では保護者の意見が汲まれづらい。前回の全体会議の時は意見が言いつらく、会議の後に事務局にPTA・通学部会の保護者代表も参加できないかと相談したが、総務部会に参加している方に意見を託していただけないかと回答があった。しかし3人しかいないのであればそれは難しい。保護者の人数を増やすことを提案する。
 - （事務局）そのことについて、第1回総務部会で校名候補の絞り込みに保護者の意見を取り入れたいという話があった。中学校の保護者代表の6名を加えるということで意見が一致したので、ご理解をお願いします。

【まとめ】

- ・通学路の危険箇所等が挙げられた。
- ・蓮沼地域から自転車で通う場合、動線が多少変わってくることから、小学生の通学にも影響を与えることや、車が増えると現在でも渋滞しているのにさらにその傾向が強まる懸念があることが確認された。
- ・長時間の通学によるデメリットが挙げられた。
- ・PTA規約について、組織に関する協議の場が必要である。
- ・次回はいただいた意見や、資料の要望を補足しながら通学方法の検討と危険箇所について、これらを継続審議として代表的なところを共有していただく。
 - 加えて、制服について実物を見ながら意見をいただきたい。
 - 次回のPTA・通学部会は10月12日（月）に開催する。

終了 19時8分